

北海道の印刷

12

第799号
2022年12月10日発行

《北海道遺産》

屯田兵村と兵屋（北海道各地）



明治期、警備と開拓にあたった農民兵士の里

屯田兵は1875（明治8）年の札幌郡琴似村に始まり、開拓と軍備のため、1899（明治32）年の士別、剣淵まで道内各地に37の兵村が置かれた。上湧別町には当時の区画の北兵村地区と南兵村地区が残る。札幌市琴似、士別市、厚岸町太田、根室市和田などに兵屋、札幌市新琴似、江別市野幌に中隊本部の建物が保存され、北見市の信善光寺には屯田兵人形75体が奉られている。

（北海道遺産公式サイト <https://www.hokkaidoisans.org/> より引用）

【写真】屯田兵中隊本部（江別市）

INDEX

3~5 北海道印刷関連業協議会役員会開催される

5 北海道印刷工業組合「共済事業」のご案内

6 令和5年新春経営者研修会のご案内

7 令和4年度全青協北海道ブロック協議会・第28回北海道青年印刷人フォーラム開催される

8・9 製造業省エネルギー環境整備緊急対策補助金のご案内

10 北海道印刷関連業協議会令和5年新年交礼会のご案内

10 新規加入組合員紹介

10 オフセット印刷技能検定合格者

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp

この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。

令和5年新年交礼会開催を決定

北海道印刷関連業協議会役員会開催

北海道印刷関連業協議会は、令和4年度第2回役員会を10月28日午後5時から札幌市中央区の札幌グランドホテルで理事・監事10人が出席して開催し、令和5年新年交礼会の開催ならび運営方法を決定するとともに各団体・業界の現況について情報交換が行われた。

最 初に、岸会長のあいさつの後、議事に入り、令和5年新年交礼会の開催について協議し、新型コロナウイルス感染防止に細心の注意を払い開催することを満場の賛成で決定した。

令和5年新年交礼会

日 時：令和5年1月10日(火) 17:00

会 場：札幌グランドホテル

会 費：12,000円

次に、各団体・業界の現況について情報交換が行われた。

▶北海道洋紙代理店会（鈴木一広会長）

前回7月の役員会で紙の価格修正の話をした。その時点で既に15%上がった状態で、さらに15%上がって合計30%上がる素材はないと皆さんに言われた。現在も30%上がった状態になっているが、ここに来て既に2社のメーカーがさらに15%アップを発表している。そうすると値上げ前から比べると紙は1.5倍になってしまう。今2社だけであるが来週以降続々と発表が予定されていて3回目は間違いなくアナウンスが出ることになっている。本当に紙が1.5倍にもなって、今までコストが安いから情報伝達媒体として使っていたと思うが、どこまで継続してユーザーの皆さんに使っていただけるかが業界のなかでも心配である。私たち代理店、製紙会社よりも2大印刷会社の方は私たちより先を行っていて、紙に印刷する事業がどこまで継続できるのかの議論が社内では始まっている。このメーカーは紙の製造から撤退するのではないかという分析までされているそうだ。私たちもい



ろいろなコストの上昇でお願いせざるを得ないが、本当に厳しいお願いに今後なっていく。紙と印刷は一体なのでここを何とか切り抜けていかなければならない。新聞用紙についても現在30%の値上げを要請している。

▶北海道洋紙同業会（森田伸介会長）

我々紙商は、今年に入って値上げ一色である。これからさらに値上げという話が出てきて、本当に今後大変である。私もこの業界に25年近く居るがこのような状況は初めてである。私見であるが、これから先、さらに上がるのか下がるのかというと、下がることはない。さらに上がると予測をしている。世界的なインフレ、為替については当面円安が続く。そもそも人口が減って需要の減少、原料高、製紙事業の業績低迷、2050年の脱炭素化に向けた製造コストの増加が理由になる。製紙メーカーもいろいろな生産調整を行っているが、ますます加速するのと、我々流通についても再編成の動きが出てくる。いずれにしても効率アッ

プとコストダウンが非常に重要になってくる。大変な状況であるがそれに向けて努力していくしかない。

▶北海道印刷インキ同業会（輪島耕介代表幹事）

印刷インキは今2次の価格改定をお願いしている。インキの動きは、コロナ3年目であるが、1年ずつ回復している。オフ輪が昨年と比べると9月までの実績で105%と伸びている。チラシの枚数も昨年少し上回っている。一方、枚葉インキはイベントの広告がデジタルになっている影響が出ているのもあるが回復が遅れている。100%を若干切っていて昨年より悪い。UVインキは観光客が少し入ってきており紙器・パッケージでは7%程伸びている。値上げのタイミングで先行需要があるのかもしれないが、動きとしては昨年より若干良い。海外の観光客も増えているので需要は回復していくと予測している。

▶北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合（杉瀬好美理事長）

当組合は、看板・ネットなどいろいろな業種が入っている。看板関係は落ち着いた感じがある。当社も前年から比べると上がりつつあるが、予算的には抑えられ、イベント的にも小さくなっているが、動いてきている。この先、コロナでどうなるか。デザイン会社なので前々に仕事をするのでコロナが増えて没ということがこの2年間あった。多少の制作費はもらうが先は見通せない。旅行関係も大型広告が出ていない。ただここに来て東京からの依頼は増えてきている。Zoomで出来るのと北海道は単価が安いのがある。全体的には昨年よりは良くなってきている。

▶北海道製本工業組合（石田雅巳理事長）

5月に通常総会を開催した後、10月15日に久方ぶりに例会を行った。社会経済活動の再開により延期・保留になっていた案件の再開、定期案件の復活が勢いの弱さを感じつつも徐々に上向き基調を実感する声が聞かれた。一方、材料費価格の高騰がある。製

本材料は糊・針金・クラフトや段ボールなどの梱包資材、全てが10～15%値上げ、板紙・布クロス・塩化ビニールなどの装幀材料も同様の値上げがある。特に布クロスは5年前と比較すると物によっては30～40%上昇している。加えて供給難がある。布クロスの原料はほとんどが中国産であり、ゼロコロナ政策によって物が届かない。そのため国内メーカーも標準在庫から外しているので選択肢も狭まっている。製本業者は収益に無頓着で10～20年、料金の改定を行って来なかった会社が殆どである。売上が増えないなかで収益を直視していかないとならない。物価高に苦しんでいる従業員の生活を守るのが私たちの責務である。料金改定のお願いとともに各社のさらなる企業努力はもちろん必要である。例えば刷り本を100枚であったものを90枚にするなど相手の負担も減らし、自社の生産を高める。双方にとってメリットのあることを製本組合全体で考えていきたい。コロナは自社の事業を総点検する良い機会であったと考え組合員一同共有したい。

▶北海道紙器段ボール箱工業組合

（森川唯志理事長）

段ボールの需要は、10月からの値上げがあったので、飲料関係等長期保存できるものは9月に仮需が発生した。10月に入って需要はストップした。北海道の産業の大きなウエイトを占める農産物は去年よりは良いが、人参・じゃがいもは収量が良くない。玉ねぎは去年は凶作であったが今年は豊作である。鮭もある程度は採れている。観光客は若干入って来ているが、まだ元に戻るのは大変である。価格は、6月にキロ10円の値上げがあった。一番遅いところがホクレン系統で10月17日に改定になった。ところが大王製紙が9月1日に値上げを発表し、日本製紙・レンゴー・王子が10月1日からの値上げの発表があった。

▶北海道印刷工業組合（大和繁樹副理事長）

シール・ラベルは、パッケージと連動するので、観光客が戻ってきてパッケージが良くなってきているのでシール、ラベルも良くなってきている。逆にスーパーマーケットで売られている物のシールは、コロナにより家庭で消費することで増えたが、行動制限が解除され外食の機会が増えたので減ってきた。食品の値上げが凄く、大量販売のディスカウント店は良いが通常のスーパーは苦戦している。原材料が全て値上げになり、自助努力で賄える範囲でないのではお客さんに価格転嫁をお願いしている。単純に値上げをお願いするのと、シールはリピート品が多いので毎月10,000枚買っていただいたものを20,000枚、30,000枚にすると単価が変わらないというように勧めたり、ユポ紙を一般紙に変えるなど原材料の見直しを勧めて価格転嫁を進めている。

▶北海道印刷工業組合（岡部信吾副理事長）

フォームは、官公庁が得意先であり、官公庁の紙の需要は減っていない。昨年はワクチンクーポンがあり今年は無いだろうと思っていたが、先々月から4回目・5回目のクーポンが発行されることになり売上向上につながった。コロナによって民間企業の需要がかな

り減少している。自治体業務は春先がメインであり、今時期だと民間の仕事が入っている時期であるが、例年に比べてかなり少ない。データプリント、封入封緘に加えDPOなどに取り入れていかなければならない。フォーム工業会で品質に関する勉強会を継続して行っている。

▶北海道印刷工業組合（岸昌洋理事長）

リピート案件・定期刊行物は、年間契約で動いているので途中で値上げはなかなか難しいなかで値上げをお願いしているが、またさらに値上げとなるとさすがに言いづらい。やるなら一気にやってほしい。ばらばらやられるとタイミングが取りづらい。組合では値上げに対するお客様へのお願い文書を官公庁と一般企業用に作って行っているが、同じ文書を何回も出すわけにもいかない。この先、値下げはなく、上がるばかりであるので、それぞれ自社の事業を棚卸し、見直す良いチャンスでもあるが、それをしなければ先は見えない。

▶エム・ビー・エス株式会社（大場行洋課長）

情報用紙メーカーとして負担をかけている。会社として社会貢献できる取組を進めている。

北海道印刷工業組合「共済事業」

～組合員の皆さまの経費節減の一助に資する～

集団扱自動車保険

○自動車保険料が割引適用されます。

推進協力会社

株式会社プロット

TEL 011-700-1020

FAX 011-700-1021

集団扱給油事業

○ガソリン・軽油が廉価で購入できます。

推進協力会社

陸自総合協同組合

TEL 011-215-1905

FAX 011-215-1906

集団扱火災保険

○火災保険料が割引適用されます。

推進協力会社

株式会社ばんしょう札幌支店

TEL 011-632-1230

FAX 011-632-1233

新電力紹介事業

○安価な電力提供会社を紹介します。

推進協力会社

さくらパートナーズ株式会社

TEL 011-788-9945

FAX 011-788-9965

「令和5年新春経営者研修会」開催のご案内

PODメーカー4社によるパネルディスカッション

北海道印刷工業組合は、「令和5年新春経営者研修会」を、1月10日、札幌グランドホテルで、PODメーカー4社からパネラーを招き、パネルディスカッションで開催します。

道 内中小印刷産業を取り巻く経営環境は、眼前に迫りつつある、深刻化するであろう人手不足、事業承継問題、多様な人材育成のための人件費コストの増加、働き方改革への対応など、課題が山積している状況にあります。

加えて、新型コロナウイルスは、中小印刷産業に限らず、世の中すべての様相を一変してしまいました。

これらの状況により、今後、従来型の印刷需要の先細りは否めず、生産性向上では将来を展望できず、創注にシフトしていかなければならなくなってきました。

このような状況下ではありますが、我々は、有益な印刷製品・サービスの提供に努め、国民生活および文化を支え、人々の暮らしを彩り、幸せを創る産業として発展していかなければなりません。

そのため、今回は視点を变えて、PODメーカー4社にパネリストをお願いし、今年のテーマをブラッシュアップし「DXで印刷産業の未来を拓く VOL.2」を

テーマに、全国のPOD導入会社の成功事例をご紹介いただき、印刷業に対する今後の方針（かかわり方）や期待することなどについて、パネルディスカッション形式で「令和5年新春経営者研修会」を下記により開催します。

本研修会では、DXによる価値創出などについて、大いにディスカッションを行っていただき、経営者に限らず、社員の皆様の意識改革も促し、コロナ禍で急展開する印刷業界にあって、勝ち残りのための方策・指針等を見出すご示唆をいただきます。

なお、本研修会は新型コロナウイルス感染防止に十分配慮のうえ開催しますので、経営者・幹部社員様はじめ社員の皆様にも多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、検温・手指消毒・マスク着用に協力いただき、体温が37.5℃以上の方ならびに体調の優れない方の参加は遠慮いただきますことを、予めご了承ください。

記

1. 日 時	令和5年1月10日(火) 14:15~16:15
2. 会 場	札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話：011-261-3311）
3. テー マ	DXで印刷産業の未来を拓く VOL.2
4. コーディネーター	ニュープリンティング株式会社 専務取締役 菅野孝市 氏
5. パネリスト	キヤノンマーケティングジャパン株式会社 コニカミノルタジャパン株式会社 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 リコージャパン株式会社
6. 参 加 費	無 料
7. 定 員	70人（定員になり次第締め切ります。）
8. 申 込 期 日	令和4年12月23日(金)

令和4年度全国青年印刷人協議会 北海道ブロック協議会・ 第28回北海道青年印刷人フォーラム 開催される

令和4年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会・第28回青年印刷人フォーラムが、「本業（じく）を変えない儲かりノベーション」をテーマに、10月22日午後1時から札幌市中央区の札幌コンファレンスホールで23人が参加して開催された。

最初に、大和繁樹北海道印刷工業組合副理事長が来賓として出席し、後輩に向けて「今後、新たな価値創出が重要になってくる。次代を担う皆さんの活躍を大いに期待している」と祝辞を述べた。

続いて、岩村貴成全国青年印刷人協議会議長が、「印刷市場が停滞するなか、既存事業を軸に生き残るために自社の収益モデルを見直す必要がある。そのためには今期の事業テーマである“儲かる”と“イノベーション”を掛け合わせた『本業（じく）を変えない儲かりノベーション』をテーマに、能動的に取り組み、各社が独自の収益モデルを築くことを最終目標としている」と議長あいさつで述べた。

次に、岩月琢也同指名副議長が講師となりセミナーが行われ、収益獲得の概念の変化、イノベーションへの2つのルートとして価値創造イノベーションと利益イノベーション、事業利益の生みなどの説明が行われた。



この後、ワークショップが行われ、自社のビジネスにおいて新たな収益が見込まれる課金ポイントやそれに対して対価を払う課金プレイヤーや課金についてのタイミングの棚卸、利益の生み出し方や各社のビジネスモデルについて研修を行った。

エネルギー価格高騰にお困りで、
省エネ設備導入をお考えの
中小製造業者の皆様

最大 **500万円**
まで補助金が受けられます。

製造業省エネルギー環境整備 緊急対策補助金

募集期間

令和4年11月9日(水)～令和5年1月31日(火)

※申請多数により、当補助金の予算を超過する見込みがある場合は、早めに申請受付を終了することがあります。

補助率

3/4以内

補助金額

最大500万円

専用
ホームページは
こちら



補助対象者

製造業を営んでおり、道内に製造拠点を有している中小企業者等で、
企業の場合は本店、個人事業主は住所、組合等は主たる事務所
または事業所を道内に有する者

申請方法

専用ホームページから必要書類をダウンロードし、
下記宛先に郵送してください。

<https://www.hokkaido-seizougyoushien.jp/>

補助対象事業

省エネルギーを目的とした設備を導入し、
エネルギー消費量を年率10パーセント以上低減すること

郵送先

〒060-8414 (住所の記載不要)

製造業省エネルギー環境整備緊急対策補助金事務局 あて

お問い合わせ先

製造業省エネルギー環境整備緊急対策補助金事務局

TEL : 050-3850-6906

(受付時間：平日 AM9：00 ～ PM5：30) ※土日祝、年末年始(12月29日～1月3日)は休業

詳細は次項をご確認ください。

補助事業の概要

詳細は、補助金専用ホームページ内の募集要領をご覧ください。

● 補助対象者（次のいずれも満たす者）

- ① 製造業を営んでおり、道内に製造拠点を有している中小企業者等で、企業の場合は本店、個人事業主は住所、組合等は主たる事務所または事業所を道内に有する者

※中小企業者等とは次のいずれかに該当する者となります。

- ・資本の額（出資の額）が3億円以下または常時使用する従業員の数が300人以下の会社および個人
- ・事業協同組合、事業協同小組合、信用協同組合、協同組合連合会、企業連合
- ・協業組合、商工組合、商工組合連合会
- ・NPO法人

- ② 令和4年4月～9月までの燃料費等（電気、ガス、ガソリン、灯油、軽油、重油）の単価が、前年同月の単価よりも増加していること。

● 補助対象事業（次のいずれも満たす事業）

- ① 省エネルギーを目的とした設備を導入し、エネルギー消費量を年率10パーセント以上低減することが見込まれること
- ② 申請する事業について、国、道が交付する他の補助金等の交付を受けていないこと

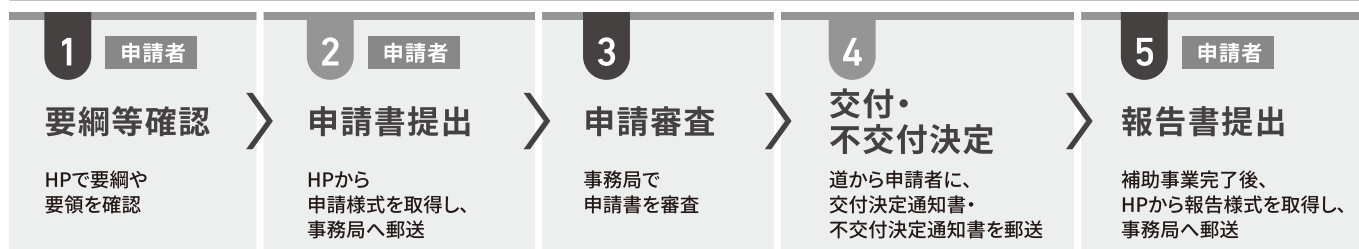
【設備の要件と導入例】

新規・更新	パターン	要 件	設備導入の例
更新の場合	A	【設備の更新による省エネ化】 設備の更新にあたり、更新後の設備の年間エネルギー消費量が、更新前の設備と比較して10%以上低減すること	・高効率ボイラーへの入替 ・工場の照明のLED化 ・省エネ型冷蔵庫への入替
新たに導入する場合	B	【省エネ型設備の新規導入】 省エネ型の設備を新規導入することにより、同等の性能を持つ現在入手可能な設備（中古品を除く）を導入した場合と比較して、年間エネルギー消費量が10%以上低減すること	・工作機械の新規導入時に高効率モーターを搭載した機械を導入 ・冷蔵庫の増設時に省エネ型のものを導入
	C	【施設等の省エネ化に貢献する設備の導入】 施設等の省エネ化に貢献する設備の新規導入により、施設等の年間エネルギー消費量が導入前と比較して10%以上低減すること	・太陽光発電設備の導入 ・冷房効率化となるエアカーテンの導入

● 補助対象経費

- ① 設備費：補助事業の実施に必要な設備の購入に要する経費
- ② 設計費：補助事業の実施に必要な設備に係る設計費やシステム設計費等
- ③ 工事費：補助事業の実施に不可欠な工事に要する経費

手続きフロー



北海道印刷関連業協議会 令和5年新年交礼会のご案内

北海道印刷関連業協議会の令和5年新年交礼会が下記により開催される。

新 年交礼会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止ならびに参会者および関係者の健康・安全に細心の注意を払い運営される。

今回の交礼会は、円卓着席（席指定）で会食が行われるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テーブル間を移動しての挨拶等は、自粛いただくことを原則としている。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、検温・手指消毒・マスク着用に協力いただき、体温が37.5℃以上の方ならびに体調の優れない方の参加は遠慮いただくこととしている。

日時	令和5年1月10日(火) 午後5時
会場	札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）
会費	12,000円

新規加入組合員紹介

パラシュート株式会社

代表取締役	荒 生 猛	〒003-0023 札幌市白石区南郷通18丁目北1番7号	令和4年11月1日加入
TEL.011-865-8180 / FAX.011-865-8353			（札幌支部）

オフセット印刷技能士おめでとうございます

令和4年度オフセット印刷技能検定の合格者が、このほど、発表になった。

組合員企業の合格者は次のとおり。

1級	眞田 学 【(株)アイワード・札幌支部】	2級	成田 新 【(株)アイワード・札幌支部】
----	----------------------	----	----------------------

北海道印刷工業組合

メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合の HP から申込受付を行っています。

[URL]

<https://www.print.or.jp>